



みどりの風



豊かな心を持ち、共に考え、自ら高めていく子ども

信濃の里で 校長 六郷 博志

先月、義務教育学校を視察するため、長野市の信濃小中学校に出かけました。小中合同での学園祭が今年で4年目になったとのことで、ぜひ実際を見たいとの依頼に先方は快く引き受けてくれ、当日は期待以上のすばらしいステージを見ることができました。

メインは合唱祭。小学校1年生から中学校3年生までが次々にステージで合唱を披露します。その歌声のすばらしさの理由を

校長先生に聞くと、上の学年のすばらしさに触れた下の学年の子どもたちが、それを真似しようとするからとのこと。逆に中学3年生の合唱祭での一番の楽しみは、小学校低学年の歌を聴くことだとも話していました。

フィナーレは、郷土の作曲家がこの学校のためにプレゼントした、信濃の自然と子どもたちを歌った組曲「山と湖水の町から」。小1から中3までのハーモニーに心が震えました。

私たちの新たな学校も、こうした感動のある活動をきつとつくりだせるはず。ぜひご期待ください。

スケート教室を行います

冬の体力づくりを目的に、新たにスケート教室を4年生以上を対象に右の通り実施することにしました。北国に育ちながら、なかなかスケートをやる機会がない子どもたちにとって、いい経験を積ませたいと思います。なお、貸靴代(50円)と午後滑走代(90円)は各学年費で充当する予定です。

月日	1月23日(月)
場所	秋田県立スケート場
日程	8:45 学校出発
	10:00 スケートスクール
	12:00 昼食(持参)
	12:45 自由滑走
	15:15 帰校



栄光の記録



- ◇ 第36回湖竜旗争奪少年剣道大会(11月27日)
 - 団体高学年の部 第3位 井川剣道スポーツ少年団
 - 個人男子高学年の部 準優勝 ○○○(5年)
 - 男子低学年の部 第3位 ○○○○○(4年)
 - S低学年の部 準優勝 ○○○(2年) 第3位 ○○○(2年)

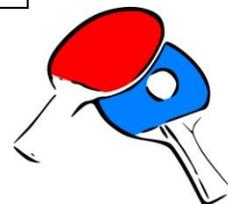


個人写真を掲載しています。

- ◇ 第22回岩手県少年・少女レスリング選手権大会(11月27日)
 - 小学1・2年の部 第3位 ○○○○○(2年)
- ◇ 第19回全県ジュニアバドミントン選手権大会(12月4日)
 - 5年生以下ダブルス 第3位 ○○○○○(4年)

個人写真を掲載しています。

- ◇ 第52回井川町卓球大会(11月23日)
 - 小学校低学年の部 優勝 ○○○○○(5年)
 - 高学年の部 優勝 ○○○○(6年)



保護者アンケート結果がまとまりましたので、次にお知らせします。短期間でしたが回収率は95%。ご協力ありがとうございました。課題についてはしっかりと検討し、改善を図ってまいります。

平成28年度 井川小保護者アンケート結果

H28・12

そう思うー4点、だいたい思うー3点、あまり思わないー2点、全く思わないー1点として平均を算出しました。また、評価については、3.4以上を○、3.0以下を△としました。右欄の→は昨年比で0.2P以上変化のあったものです。

番号	分野	内容	H27	H28	評価
1	学校経営	学校は教育目標「共に考え、進んで活動する子ども」にむけよく取り組んでいる。	—	3.3	
2		学校は家庭や地域に教育方針を分かりやすく説明したり伝えたりしている。	3.1	3.2	
3		学校は学校行事や学年のイベントをよく工夫している。	3.2	3.4	○
4		学校には連絡や相談をしやすい。	—	3.0	△
5		学校の給食は、食育の観点からよく工夫されている。	—	3.3	
6		学校は、中学校やこどもセンターとよく連携している。	—	3.3	
7		学校は、子どもたちの活動に適するよう、校舎内外の整備・改善に努めている。	3.0	3.3	
8	地域・安全	学校は、子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えていく。	3.3	3.5	○
9		学校は、地域の施設や人材を活用・連携して教育活動を行っている。	3.2	3.3	
10		学校は、子どもの健康や安全を守る努力をしている。	3.2	3.4	○
11		学校は、避難訓練などによく取り組み、命を大切に子どもを育てている。	—	3.3	
12	学習	学校は、授業で話し合いや発表の場を設け、共に考える子どもを育てている。	—	3.3	
13		学校は、基本的な内容が身に付くように指導を工夫している。	3.1	3.1	
14		学校は、T・T（先生が2人）や少人数指導をよく工夫している。	—	3.1	
15	特別活動	学校は、児童会活動や縦割り活動をよく行い、進んで活動する子どもを育てている。	3.2	3.4	○
16		学校は体験活動や奉仕活動を充実させ、思いやりを持つ子どもを育てている。	3.1	3.3	
17	生徒指導	学校は、適切なあいさつの指導をよくしている。	—	3.2	
18		先生は子どもをよく理解し、対話をしっかりしている。	—	3.0	△
19		学校はいじめのない学校になるようよく努力をしている。	—	2.8	△
20	保護者	子どもの様子や変化、学校への要望などをすぐに学校に知らせている。	2.9	2.8	△
21		テレビの時間や家庭学習時間、起床就寝時刻を決めて取り組ませている。	2.8	3.0	△



本校の活動でよいと思われること

学校経営(11)

・今年度から新しい取り組みが盛りだくさんで親も子どもたちも毎回楽しませてもらい感謝しております。きっと井川小学校の生徒でよかったと思いながら新設する学校へ移っていくことができるのではないのでしょうか。これも校長先生をはじめ多くの先生方のご尽力があってこそだと思えます。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。・いつもお世話になっています。娘はいつも学校での出来事を楽しそうに話してくれます。・子どもたちの経験のため行事がたくさんあり、とてもよいことだと思えます。全学年の交流の集いもこのまま続けていってほしいです。いつもありがとうございます。・今までになかった学校行事が増え、子どもたちも楽しみにしています。以前より学校での行事のこともたくさん教えてくれるようになりました。・校長先生、教頭先生の取り組みや活動は生徒はもちろん、保護者も感じることができてとてもありがたいです。・六郷先生が来られてから学校がいろいろよい方向に変わったように思います。こどもたちのためにいろいろ工夫していただきありがとうございます。・毎朝、校門で校長先生があいさつをしてくれ、子どもたちを見守ってくれ安心してあります。(ありがとうございます)・男女や学年のちがいがあっても、仲良く協力し合って活動できる井川小学校の子どもたちにいつも感心しています。これからも、学校全体で楽しく学びあえる体験をしていってほしいです。・寒くても体を動かして元気いっぱい過ごしてほしいです。・今の小学校での思い出をたくさんつくってほしいと思えます。・子どもたちの部活や習い事などの表彰などは励みになるので続けてほしい。・いつもお世話になっています。校長先生、毎朝校門での見守りありがとうございます。教頭先生、毎日ブログ楽しみに見えています。ありがとうございます。今度は空手の試合も見学にいらしてください。

情報発信(6)

・毎日、フェイスブックで子どもたちの活動の様子を見ることができ、家での話題の1つになっています。とても楽しみにしているので、今後も続けてほしいと思えます。・ブログやフェイスブックは子どもたちがどのように過ごしているのか、給食のメニューなどがわかってありがたいです。・校長先生と教頭先生のブログ等は家庭や父兄同士で学校について話すときに大変参考になり、ありがたいと思っています。ぜひ続けていただきたいです。・井川小学校の閉校まであと1年。最後の年をよりよいものにしたいという学校側の気持ちがよく伝わってきます。親もこの校舎の卒業生であり、感慨深いものがあります。先日のPTAで1年間の様子をまとめたDVDが流れましたが、風景や音楽を含めすばらしかったです。来年もあのようなDVDがあるのなら購入してもいいなと思いました。卒業アルバムもそうですが、何か形に残るものがあったらいいなと思いました。節目の年である子どもたちが注目されているのはわかりましたが、先日のPTA学年懇談でもあったとおり、保護者にももっと情報発信して巻き込んでほしいと思えます。先生方もお忙しいこととは思いますが、これからもよろしくお願ひいたします。・校長先生のFace bookや教頭先生のブログは毎日楽しみにしております。子どもたちの活動や表情がみれてとてもよいと思えます。・いつもフェイスブックやホームページでの情報発信してくださり、子どもたちがどのように日々学校生活を送っているかを知ることができ、本当にありがたく思っています。

縦割り活動(2)

・縦割り活動を続けてがんばってほしい。・縦割り班活動など他の学年の子どもと触れ合うことで刺激になったり自分の立ち位置、すべきことなどが身に付いていくと思うので増やして行ってほしい。

小中連携(1) 生徒指導(1)

・ここ1・2年での「センター」「小学校」「中学校」の連携した教育活動は小中一貫校になるにあたり、子どものためにも、私たち親側の意識的な部分でもとてもよいことだと思っています。何より、その日合った行事での出来事など、子どもが楽しそうに話してくれます。本当にうれしく思います。ありがとうございます。

・今年度は何度か子どものことについて先生に相談させていただきました。その後、先生の早い対応、子どもたちへクラスでの呼びかけがあったことを子どもの方から聞き、安心して学校に行く子どもの様子を見て、親として大変うれしく思いました。ありがとうございます。子どもも安心して学校に行く、親も安心して学校に出せるのが一番です。

本校の活動で見直してほしいこと

登下校(6)

・登校班のことですが、よっぽどのことがない限り歩かせたいと思っているのですが寒くなり人数がだんだん減ってきています。歩くことのよさをもっと皆さんにわかってもらえたらと思う次第です。・いつも登下校時、見守ってくださる“さくらサポート”の皆様に感謝しています。先日、“登下校～について”の文章をいただきました。少しの雨でも車で送り迎えする方を見て、少々困惑していました。集団登校が成り立たない時は、仕方なく送迎していました。少しでも改善されたらと思います。・うちの町内なんですけど、集団登校があまりできていないです。あまり歩かないから嫌だと言っています。私的にはスポ少などない日などは、健康のためにも歩いてもらいたいんですが・・・。どうしたらいいか・・・。私が小学生のときはけっこう歩いていたと思うのですが。・最近集団登下校に関する文章がありました。下校時のお迎えは習い事やスポ少の時間を考えると、家での時間(食事、宿題など)をとるために仕方がないケースも多々あります。ご理解ください。・警報(夏や冬)が出た際の登下校時の対応をどうするのかもう少し早く知らせてほしい。(迎えに行くべきか、そうでないか。親任せではどうしてよいかわからない)

・スクールバスの車体数がたりない。キャパシティが小さくてもいいので小回りが利くバスを用意してほしい。今と昔では気候も変わってきているので、夏の暑い中日陰もないようなところを歩かせるメリットがない。また犯罪も増えてきているので一人での下校をなくすようにしてほしい。

【回答】ご意見ありがとうございます。様々なご意見があると思いますが、子どもたちの安全安心や健康増進の観点から、集団登下校についてはベストではないにしてもベターな選択だと考えています。ただ、集合地点に時間通り集まることや荒天の場合の連絡の仕方、歩く際の上級生下級生の問題など、様々な課題があることも事実です。ご指摘のあったことを十分に受け止めながら、登校班への指導に当たってまいります。また荒天や非常時の連絡については、これまで以上に迅速に行うよう留意します。

生活の指導(5)

・日常で起こったケンカなどを題材にクラスや縦割り班でみんなにいろんな考えがあるんだとわかるように(自分の意見だけが正しいんじゃない)話し合い(ディベートのような)考えを出させる場を作り、ただ先生に怒られるからやっちゃいけない!とかじゃなく、考えて行動できるようになってほしい。(勝手な私のお願いですが・・・)何も知らない勝手な意見ですみませんが・・・自分が小学校のときにクラスでやってとても考えさせられ、今でも残っているから大人になってから悩んだときに思い出せるととてもいい話し合いだったと思うので。一人では思いつかないいろいろな意見が前に進むきっかけになることを知り、みんなのおかげで今の自分があることを知るきっかけになってくれたらいい。特にうちの子は協調性がないので。

・子どもたちはふざけっこから度を超してしまうことがあります。いきすぎたふざけっこをしてしまうこともあるでしょう。年齢とともに「しまった! やりすぎた!」と相手の思いに気づいて反省できるように、ちゃんと相手の思いに気づける子であってほしいと思いをかけています。”いじめのない学校”というよりは”思いやりのある子ども”であってほしいと思います。子どもにとって何がいじめなのか判断するのは実際難しいところ。大人だってそうかもしれませんが。ケンカするなら、ちゃんとケンカしてこいと伝えていきます。自分の思う存分、意見を出してときには結果として怒られることもあるでしょうけど、相手ととことんぶつかって相手の思いに気づける子であってほしいと思います。いじめとケンカは別物。常に「いじめはダメ」とびくびくして学校生活を送るのではなく、のびのびと自分らしさを発揮して、ときにぶつかり合いの中で人としての生き方を学んでいってほしいものだと思っています。・あいさつをきちんとできる生徒にしていきたいです。・ありがとうと思える、言える事はとても大切だと思います。

・いじめに関して、学校側から指導をこまめをお願いしたいです。・人を思いやる心が芽生えると感謝の気持ちを大切にできると思いますし、いじめもなくなるのではないかと思います。道徳の指導は結果を確認することが困難なのでとても難しいことと思いますが、子どもの心に伝わると言いますが何か少しでも気づけるきっかけを作ってくださいを願っております。

・高学年が低学年に指導する場面が多々あると思いますが、(縦割り活動や集団登校等)低学年が指示通りにできないときの具体的な接し方を高学年にアドバイスしていただけないでしょうか。高学年が、自分で考えて解決できれば一番よいのですが、先生が「低学年の子どもたちの面倒をしっかりと見て!」と言うだけではどうすれば低学年が好ましい行動をしてくれるかわかりません。(こう書いている私自身も好ましくない行動をやめさせるためにどうしたらいいか日々悩んでいます・・・)うちの6年生は下級生が言うことを聞かないことを先生に指摘されると下級生のせいで自分が怒られたと感じてしまいます。縦割り班活動自体はすごくよいことだと思っています。

・一人一人の子どもを理解してその子にあった指導をお願いしたいです。勉強のできる子どもできない子ども運動のできる子どもできない子どもみんな一緒には無理だと思うのでもう少し対策があったら・・・と思います。

【回答】ご意見ありがとうございます。子どもの生活では友達同士のトラブルやすれ違いが必ず起こります。大切なことは、ご指摘の通り、問題を解決しようと話し合ったり理解しあったりして、トラブルの乗り越え方を子どもたちが学ぶことにあります。「話し合いのある学校」「堂々とまちがうことができる学校」を目指して、これからも取り組んでまいります。また、縦割り活動についてもご指摘のとおり、上級生は大変苦勞して活動を進めております。私たち教師も安易に投げっぱなしにすることのないよう、子どもたちを見守ってまいります。

学習指導(5)

・授業を聞いていないのか理解できていないのかわかりませんが、宿題をやらせるとわからないというときが多々あります。授業は基本となることばかりなので、みんなが理解して終わっているか確認できるようにしてもらえたらと思います。・英語に興味を持てるような企画が増えたらうれしい。上の子ども(現在中学生)をみていると小学校での学習が基礎になっていることがよくわかります。是非、少人数学習やT・Tなどで細かい指導をし、少しでも苦手教科を克服できるような授業をお願いしたいです。・家庭学習もよいとは思いますが、プリントの宿題であればやることははっきりして向かいやすく助かります。・お便りが少なく持ち物に困りました。また、宿題が少なく、これも心配です。兄弟に比べてこれだけで大丈夫か・・・と心配です。ただ、成長していることには感謝します。フェイスブック楽しみにしています。毎日楽しく学校生活を送っていてありがたいです。・英語推進プログラム(県の事業など)に参加してほしい。

【回答】・ご意見ありがとうございます。「わかる授業」を目指して学校全体でも取り組みを進めていますが、まだ目標に到達してはいません。来月、4年生以上の学習状況調査の結果も出そろいますので、対策を立ててまいります。保護者の皆さんにも家庭学習ではご協力いただくことが多々あります。ぜひよろしく願います。また、授業のことや家庭学習のことでご意見がありましたら遠慮なく連絡帳などに書き込んでください。

食育(1)

・今回、学校の給食の評価をきびしく(?)してしまい、申し訳ありませんが、以前の給食内容(前栄養士さんのとき)に比べて、どうしても楽しみや彩りの工夫がなくなり、おいしいときもあるけど量が少ない、とか、普通だった、という感想が多いので。ホームページで給食の写真を見ても、彩りがほしいなと思うことも度々で。再来年、合併(小中一貫)したら、食器を変更したりとか、工夫されてもいいかなと。食材は予算があるかと思っております。

【回答】ご指摘ありがとうございました。彩りについては、地場産野菜などの積極的な活用を図り(今年度は県で第四位)、和食を中心にメニューづくりをしていることが原因となっているかもしれません。いずれにしても、今後、食器も含めて工夫改善してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

その他(2)

・他校でやっている引き渡し訓練を検討してほしい。
・PTA時のボランティアは子どもセンターの子を受け容れてもらえないのはなぜでしょう?保育部の子なら納得するのですが、幼稚園部の子も預かっていただけると助かります。ご検討よろしく願います。

【回答】引き渡し訓練については、来年度実施いたします。また、PTA時のボランティアの件につきましては要望を伝え、子どもセンターの園児も預かるという回答を得ております。次回からご利用ください。